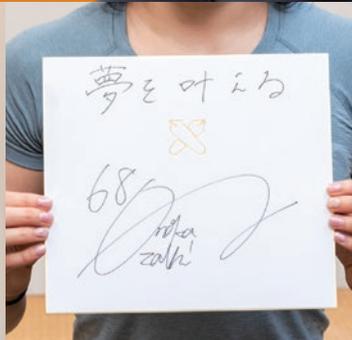


Portrait

ポートレート

おぎきののか 尾崎野乃香君 環境情報学部4年 レスリング女子68kg級で金メダル目指す

主戦場としてきた62kg級から階級を2つも上げ、プレーオフの激闘を制して、パリへの切符をもぎ取った。浜口京子選手の姿に憧れて7歳でレスリングを始めた少女はすぐに頭角を現し、やがてアスリートの精鋭が集うJOCエリートアカデミーへ。慶應義塾大学進学を決断は周囲を驚かせたが、「レスリングだけの人生にはしかなかった。社会に貢献できる人になるために、学ぶことで自分の『幅』を広げたかった」。学業との両立は苦勞も多いが、「多くの人に協力していただきながら、強い意志で道を切り開いたことを誇りに思う」。将来は、スポーツ選手の男女平等や国際大会における宗教上の配慮について、広く発信していきたいと語る。そのためにも、今夏のパリでは最高の結果を残すつもりだ。



©SACHIKO HOTAKA

SFCでは、イスラム文化を研究する野中葉研究会に所属している

女子68kg級の試合は8月5・6日。「レスリング日本勢最初の金メダルを目指します」

パリオリンピック代表決定プレーオフの試合は、ラスト数秒まで粘りを見せて競り勝った